

2026 年総合生活改善 第 1 回中央戦術委員会

＜確認事項＞

2026 年 2 月 4 日
自動車総連

自動車総連は第 93 回中央委員会において、2026 年総合生活改善の取り組み方針を全会一致で確認した。当方針に基づき、今次においても、自動車総連に集う仲間の思いを一つに、産業の魅力向上に繋がる総合的な取り組みをサプライチェーン全体で力強く推進していく。

＜2026 年総合生活改善の取り組み 基本方針の要旨＞

- 厳しい経営環境を乗り越えるためには、労使で健全な危機感を共有し、生産性向上の取り組みや、それを支える人への投資をいかに実現させるべきか、今次は例年にも増して真摯な議論を重ねることが求められる。
- 未だ残る組合員の生活不安を払拭することに加え、日本経済の持続的な成長に繋げるため、近年で積み上げてきた賃金引き上げと物価上昇の好循環を持続可能なものにすることが極めて重要である。
- ならびに、中小企業を中心として深刻化する人手不足の改善に向け、賃金に限らず、休日数を始めとする労働諸条件の改善等、産業の魅力向上に繋がる総合的な取り組みをサプライチェーン全体で力強く推進する。

1. 要求提出・第 1 回交渉までの運び

- 各組合は、要求提出および第 1 回交渉において、経営環境を始めとする現下の情勢認識を正しく捉えつつ、要求趣旨について真摯な対話を会社側と実施する。とりわけ、自社や産業の魅力向上を見据えた組合の課題意識や今回の要求構築に至った経緯、組合員の思いを余すことなく経営に伝え、労使の認識を丁寧にすり合わせる。
- ・月例賃金：「絶対額を重視した取り組み」の継続を基本とし、「全年代での実質賃金の向上や地域別最賃の急速な引き上げに対応すること」と「自ら目指すべき賃金水準の実現や賃金課題の解決」を目指し、賃金引き上げの必要性に関する前向きな見解を経営側から引き出す。
- ・企業内最低賃金：「自社の魅力向上・人材確保」「労働組合の社会的役割」「自動車産業の魅力向上」「物価上昇から生活を守る」観点、「特定最低賃金への波及」などを踏まえ、時給額換算も念頭に新規締結・水準引き上げ・対象者拡大の必要性を訴求する。
- ・年間休日増：誰もが働きやすい職場環境の実現と自動車産業が選ばれる産業とするために、他産業と比較して劣後している年間休日数について、2027 年までの 5 日増の実現に向けて、取り組みの必要性を訴求する。
- 各労連は、それぞれの労連方針の実現に向け、各組合における訴求力ある要求提出および第 1 回交渉に結び付ける。とりわけ、労連全体の底上げや各組合が「目指すべき賃金水準」を実現すべく、各組合との密な連携を通じた強力なサポートや、経営者懇談会や労使懇談会等、経営に対する働きかけを計画的に進め、各組合の交渉環境を整備する。
- 自動車総連本部は、統一要求提出日や第 1 回統一交渉日における各労連の要求提出・交渉状況（メーカー主要 12 組合の個別状況を含む）を速やかに収集・分析・共有することで、自動車総連台の共闘効果を高めるとともに、その後の戦術策定に繋げる。
以降も、速報対象組合を中心に、交渉状況の速やかな収集・分析・共有を実施する。

2. 要求書提出

全ての組合は、2 月末日までに要求書を提出する。

- 主要組合における統一要求提出日は、2 月 18 日（水）とする。
- 車体・部品部門においては、2 月 25 日（水）までに要求提出を完了する。

3. 統一交渉の推進

- 強固な共闘体制のもと交渉を進めていくべく、主要組合における統一交渉日を次の通り設定する。なお交渉の状況は、交渉機関を通じて速やかに共有する。

第 1 回：2 月 25 日（水）	第 2 回：3 月 4 日（水）	第 3 回：3 月 11 日（水）
-------------------	------------------	-------------------

4. 回答引き出し

- 自動車総連全体のヤマ場を 3 月 18 日（水）から 3 月 27 日（金）までとし、この間で、各組合・労連は、集中的な回答引き出しに最大限努力する。
- 主要組合における集中回答日は 3 月 18 日（水）とし、午前中に要求項目の同時回答を引き出す。
- 全ての組合は 3 月末解決を目指し、遅くとも 4 月末までの解決に強力に取り組む。
- 販売部門については 3 月末解決を目指して取り組むこととし、3 月末解決が難しい組合においては、一日でも早い解決を目指す。

5. 交渉機関の設置

- 中央戦術委員会、戦術会議を設置し、交渉戦術を適宜策定・展開するとともに、各業種別部会を機動的に開催し情報交換を行うことで、共闘効果を高めていく。
- 上部団体や他産別との緊密な連携、交渉状況の的確な収集・分析、社会への効果的な発信を行うため、自動車総連本部内に情報センターを設置する。

※1/15 #7 中執「2026 年総合生活改善の取り組み 戦術会議・中央戦術委員会の持ち方と今後の進め方について」にて提案・確認済み

6. 自動車総連一体となった取り組み

- 積極的な賃金引き上げや産業で働く全ての仲間の総合的な生活の改善を図るとともに、産業・企業・職場の競争力強化を通じ、選ばれる産業の実現に向けて全ての組合・労連・自動車総連本部はそれぞれに求められる役割を確実に果たしていく。

7. 今後の日程

- 第 2 回中央戦術委員会を 2 月 27 日（金）に開催する。